

研究課題「ヒト固形癌における RET 遺伝子再構成の解析」に関する情報公開

1. 研究の対象

平成 21 (2009) 年 4 月 1 日から平成 30 (2018) 年 3 月 31 日までに名古屋大学医学部附属病院, 愛知医科大学病院, 国家公務員共済組合連合会名城病院および社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院で甲状腺癌, 卵巣癌, 唾液腺癌, 子宮内膜癌, 神経芽腫の診断のもと手術された方を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究目的> ヒト固形癌でがん遺伝子の再構成が発癌に重要な役割を占めることが近年報告されています。甲状腺癌は放射線被曝により *RET* 遺伝子などのがん遺伝子が再構成を起こすことが引き金となって発症することが明らかになっています。本研究では遺伝子再構成によって引き起こされたヒト固形癌を検討することでそれらに共通した病理学的特徴を明らかにすることを目的としています。

<研究方法> 対象となる方の手術時の癌のパラフィンブロックを薄切し, 免疫化学染色 (*RET*, *TRK*, *ALK* など) を施行し, 顕微鏡観察により得られる形態的な特徴について, 免疫組織化学的な評価を行います。これらの形態的な特徴や分子発現パターンとともにカルテの臨床情報 (年齢, 性別, 臨床病期, 予後など) をもとに臨床病理学的な特徴の関連について統計学的に解析, 検討します。

<研究期間> 実施承認日~2019 年 12 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 病理検体 (パラフィンブロック)

情報: 病歴, 年齢, 性別, 臨床病期 等

これらの情報・試料は個人が特定できないように匿名化をして研究に用います。

研究終了後の試料・情報の取扱い: 匿名化された組織標本は将来にわたって解析に用いるため研究終了後も期限を決めずに保管します。それ以外の個人が特定できる情報や対応表の電磁データは研究成果公開後 3 年間、研究終了後 5 年間の後に消去用ソフトで適切に削除します。

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関への情報提供は個人情報が入らないよう, 統計学的解析や画像化を行った後の匿名化された情報のみをパスワードロックをかけた記録媒体で提供します。個人が特定できる情報や対応表は本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 倫理的配慮

本研究は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を受けた上で行われます。研究に用いる癌組織は患者さんが手術された時に切除された組織を使用するため、新たに組織を採取することはありません。検討は肉眼的観察や顕微鏡観察で得られた形態学的情報のみを取得して行い、遺伝子情報の検索は行いません。症例には全て新たな検体番号をつけて識別を行い、臨床所見や病理情報も個人情報が入らないように匿名化した上で用いるため、個人が特定されることはありません。個人情報の保護に最大限の配慮をして研究を行います。

この研究へのご自身の組織の利用を望まれない場合には、この研究には使用いたしませんので、下記連絡先までご連絡、ご相談ください。しかしながら、すでに匿名化した後では個人の特定が不可能ですのでデータを削除できないことがあります。

6. 問い合わせ先

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻 川井久美

研究分担者：名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻 橋本克訓

住所：名古屋市東区大幸南1丁目1番20号

電話番号：052-719-1189

kawai93@met.nagoya-u.ac.jp

7. 苦情等の連絡先

名古屋大学医学部保健学科庶務係

電話番号：052-719-1504